京都府の教育の基本理念を実現するための重点目標
Priority targets to realize Kyoto Prefecture's basic educational principles

❶ 質の高い学力をはぐくむ
Foster high academic ability.

❷ 規範意識や人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性をはぐくむ
Foster well-rounded people with social consciousness,compassion and respect for others.

❸ たくましく健やかな身体をはぐくむ
Build a strong and sound body.

❹ 一人一人を大切にし、個性や能力を最大限に伸ばす
Value individuals to maximize personality and diverse abilities.

❺ 社会の変化に対応し、よりよい社会の構築に貢献できる力をはぐくむ
Foster ability to respond to social changes and contribute to building a better society.

❻ 学校の教育力の向上を図る
Improve the educational level of schools.

❼ 安心・安全で充実した教育の環境を整備する
Establish a safe and secure learning environment.

❽ すべての教育の出発点である家庭教育を支援する
Support home education as the basis for all other education.

❾ 地域社会の力を活かして子どもをはぐくむ環境をつくる
Create an environment where children are raised by utilizing the power of local community.

❿ 生涯学習社会の実現に向けて学習環境を充実させる
Improve learning environment in order to create a lifelong-learning society.

～コラム～ 京の知恵袋

２０１３年１２月に、和食が日本人の伝統的な食文化としてユネスコ無形文化遺産に登録されました。

これに先立ち、京都府教育委員会では、全国で初めて「京料理・会席料理」を無形文化財に指定し、その技能保持者として、高橋英一さんを認定しました。

京料理は、「出汁（だし）」を基本とする調理法と、美しく盛りつけ配膳した料理を、心配りが行き届いた空間でもてなす京都の伝統的な生活文化の一つです。

Washoku, the traditional dietary cultures of the Japanese, was inscribed in December 2013 on the Representative List of the Intangible Cultural Heritage of Humanity.

Before this registration, the Kyoto Prefectural Board of Education previously designated Kyo-ryori and Kaiseki-ryori cuisines as an Intangible Cultural Property of Kyoto – the first of its kind in Japan – and Mr. Eiichi Takahashi as a Skilled Specialist. Kyo-ryori, or Kyoto Cuisine, is just one of the aspects of traditional culture that exist in everyday life.

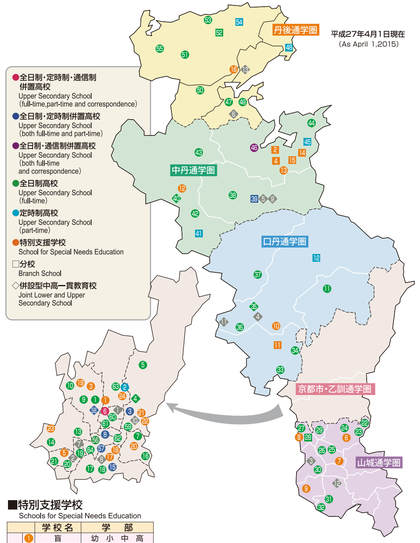
It focuses on offering hospitality, serving beautifully decorated dishes, often cooked using dashi stock, all set in an inviting and pleasing atmosphere.

京都府の教育施設
Kyoto Prefectural Public Education Institutions

■公立高等学校
Public Upper Secondary Schools

（　）内は定時制
【　】内は通信制

平成27年4月1日現在
(As April 1,2015)



●全日制・定時制・通信制併置高校
Upper Secondary School (full-time,part-time and correspondence)

●全日制・定時制併置高校
Upper Secondary School (both full-time and part-time)

●全日制・通信制併置高校
Upper Secondary School (both full-time and correspondence)

●全日制高校
Upper Secondary School (full-time)

●定時制高校
Upper Secondary School (part-time)

●特別支援学校
School for Special Needs Education

□分校
Branch School

◇併設型中高一貫教育校
Joint Lower and Upper Secondary School

		学校名	学科	平成27年度京都府公立高等学校募集学科
府立 Prefectural	1	山城	普	文理総合
	2	清明	普	（普単位制）
	3	鴨沂	普	（普）
	4	洛北	普 単位制 普単位制スポーツ総合 附属中	
	5	北稜	普	
	6	朱雀	普	【普単位制】【普単位制】
	7	洛東	普	
	8	鳥羽	普 総スポ総合	（普）
	9	紫野	普	京都こすもす
	10	北嵯峨	普	
	11	北桂	普	
	12	北桑田	普	農
	13	〈美山〉		（農　家）
	14	桂	普	農
	15	洛西	普	
	16	桃山	普	自然科学（普・商単位制）
	17	東稜	普	
	18	洛水	普	
	19	京都すばる		商　情
	20	向陽	普	
	21	乙訓	普	体
	22	西乙訓	普	
	23	東宇治	普	
	24	菟道	普	
	25	城南菱創	普単位制	教養科学単位制
	26	城陽	普	
	27	西城陽	普 総スポ総合	
	28	京都八幡	普総合選択制	
	29	〈南〉		福　人間科学
	30	久御山	普 総スポ総合	
	31	田辺	普	工
	32	木津	普	農　商
	33	南陽	普	サイエンスリサーチ
	34	亀岡	普 普実科・工芸	数理科学
	35	南丹		総単位制
	36	園部	普	京都国際附属中
	37	農芸		農
	38	須知	普	農
	39	綾部	普 総スポ総合	
	40	〈東〉		農（普）
	41	福知山	普	文理科学附属中
	42	〈三和〉		（農　家）
	43	工業		
	44	大江	普総合選択制	商
	45	東舞鶴	普	
	46	〈浮島〉		（普）
	47	西舞鶴	普	理数探究【普単位制】
	48	宮津	普	工
	49	〈伊根〉		（普）
	50	海洋		水
	51	加悦谷	普	
	52	峰山	普	工
	53	〈弥栄〉		農　家
	54	網野	普	商
	55	〈間人〉		（普）
	56	久美浜		総単位制
京都市立 Kyoto City	57	洛陽工	工	工
	58	伏見工	工	工（工）
	59	西京		エンターテイメント（普）附属中
	60	銅駝美術工芸		美
	61	京都堀川音楽		音
	62	堀川	普	人間探究、自然探究
	63	白河ケ丘	普単位制	
	64	紫野	普	アカデミア
	65	塔南	普	教育みらい

※注　高等学校（全日制普通科）の通学区域は、原則として通学圏（色分けして表示）の範囲内である。
なお、専門学科の通学区域については、学校・学科ごとに教育委員会規則でそれぞれ定めている。
※ note　Kyoto Prefecture as divided by color into Upper Secondary School Zones.

■特別支援学校
Schools for Special Needs Education

		学校名	学部
府立 Prefectural	1	聾	幼 小 中 高
	2	〈舞鶴〉	幼 小
	◇	聾	幼 中 高
	3	〈舞鶴〉	幼 小
	4	向日ケ丘支援	小 中 高
	5	宇治支援	小 中 高
	6	城陽支援	小 中 高
	7	八幡支援	小 中 高
	8	南山城支援	小 中 高
	9	丹波支援	小 中 高
	10	〈亀岡〉	小 中
	11	中丹支援	小 中 高
	12	舞鶴支援	小 中 高
	13	〈行永〉	小 中
	14	〈北吸〉	小 中
	15	与謝の海支援	小 中 高
	16	京丹波合支援	小 中 高
	17	桃陵総合支援	小 中
	18	鴨沢総合支援	小 中 高
	19	東総合支援	小 中 高
	20	白河総合支援	高
	21	〈東山〉	高
京都市立 Kyoto City	22	西総合支援	小 中 高
	23	北総合支援	小 中 高

平成27年9月に次の学校を設置。
平成28年4月開校予定。
・市立京都工学院高等学校（京都市伏見区）

■その他の教育機関等
Other Educational Facilities

◇	京都府教育庁
◇	乙訓教育局
◇	山城教育局
◇	南丹教育局
◇	中丹教育局
◇	丹後教育局
	埋蔵文化財調査研究センター
	総合教育センター
	総合教育センター北部研修所
◇	府立図書館
	府立るり渓少年自然の家
◇	府立山城郷土資料館
◇	府立丹後郷土資料館

京都府の教育2015
Education in KYOTO Prefecture

府立木津高等学校「城山台ABCマーケット」
（生徒が栽培した農作物の販売実習）

京都府の概要（平成27年7月1日現在）
Outline of Kyoto Prefecture (As of July 1,2015)

● 面　積	Area	4,613.21㎢
● 人　口	Population	2,609,270人
● 世 帯 数	Household	1,159,871世帯
● 市町村数	Municipalities	15市10町１村 15Cities 10Towns 1Village

グローバル人材育成
（綾部市小学生イングリッシュキャンプ）

未来のアスリートの発掘、育成
（京都きっずサマーキャンプ・久美浜湾）

世界文化遺産　古都京都の文化財
（国宝平等院鳳凰堂・宇治市）

京都府教育委員会
KYOTO PREFECTURAL BOARD OF EDUCATION
〒602-8570
京都市上京区下立売通新町西入薮ノ内町
TEL：075-414-5707
URL：http//www.kyoto-be.ne.jp/

発行：京都府教育庁管理部総務企画課

「京都府教育振興プラン」
～つながり、創る、京の知恵～

京都府の目指す人間像
Goals for Model Students

京都府教育委員会では、教育基本法に掲げられた教育の基本理念を踏まえつつ、今後目指す人間像を次のように考え、京都府ならではの教育を通じて、子どもから大人まですべての人々が生涯にわたって力強く歩み続けることができる人づくりを進めていきます。

Kyoto Prefectural Board of Education promotes the fostering of people who can live proactive lives through Kyoto Prefecture's unique education system. The system based on the basic educational principles stipulated in the Basic Education Law. We consider the model citizen as follows:

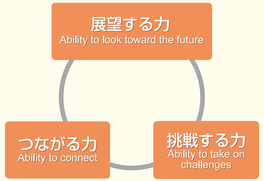
◆ 歴史と伝統にはぐくまれた京都の知恵をつなぎ、自然、人、社会とつながる人
A person who connects with nature, people, and society by utilizing wisdom gained from Kyoto's long history and tradition.

◆ 積み重ねられた知恵を活用し、新しい価値を創り出して世界に発信する人
A person who can use accumulated wisdom in order to create new value and spread it to the world.

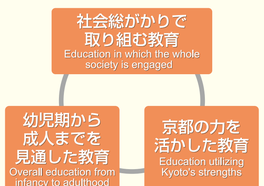
はぐくみたい力 Skills to cultivate in students

「目指す人間像」に向けた人づくりのため、これまで「生きる力」「知・徳・体」として表現されていた概念を、３つの「はぐくみたい力」としてより具体的にあらわし、これら３つの力の調和を大切にした教育を進めます。

With the aim of fostering model citizens, we promote education focusing on the three harmonized abilities in the chart below which embody the accepted concept of "zest for living" exemplified by the three pillars of "wisdom, virtue, and strength".



施策推進の視点 Views on implementing measures

京都府の教育の基本理念を実現していくために今後様々な取組を推進していく上で、すべての施策に共通して常に持っておくべき視点を次のように定めています。

In order to realize Kyoto Prefecture's basic educational principles, the following views in the chart below underlie all our educational measures.